

## 2. 環境への影響の予測・評価にあたって

### 2.1 環境保全の取り組み

早明浦ダム再生事業は、環境影響評価法の対象事業ではありませんが、「水資源機構の環境方針」に基づき、事業実施区域及びその周辺の環境の適切な保全を図るため平成30年度から環境調査を実施しており、令和2年には環境影響の予測・評価を実施しました。

なお、環境影響評価の技術的な検討手法については、国土交通省の策定した「ダム再生ガイドライン」（平成30年3月、国土交通省水管理・国土保全局河川環境課流水管理室治水課事業監理室）に拠り検討しました。

また、平成30年9月には「早明浦ダム再生事業環境検討委員会」を設立し、同委員会より環境調査、環境への影響予測・評価、環境保全措置の検討について指導・助言を得ながら環境保全に取り組んでいます。

### 2.2 早明浦ダム再生事業環境検討委員会

早明浦ダム再生事業環境検討委員会では、環境調査、環境への影響予測、環境保全対策の検討・実施等について指導・助言を頂いています。

委員会は平成30年から令和3年9月時点で4回開催しています。

表 2-1 早明浦ダム再生事業環境検討委員会 学識者名簿

氏名	所属	専門分野
荒川 良	高知大学 名誉教授	昆虫類
石川 和男	松山東雲女子大学 名誉教授	動物生態学、鳥類
石川 慎吾	高知大学 名誉教授	植物生態学
(委員長) 笹原 克夫	高知大学教育研究部自然科学系 教授	砂防学、斜面防災学
高橋 勇夫	たかはし河川生物調査事務所 代表	魚類
藤原 拓	高知大学教育研究部自然科学系 教授	環境水質学

※五十音順・敬称略、所属は令和3年3月時点

表 2-2 早明浦ダム再生事業環境検討委員会の実施状況

回	年度	開催日	検討項目
第1回	平成30年度	平成30年9月6日	・早明浦ダム再生事業の概要 ・環境への取り組み方針 ・現地調査計画（案）
第2回	令和元年度	令和元年7月2日	・調査項目及び環境影響評価の考え方 ・調査結果の報告及び今後の調査計画 ・水質予測の進め方
第3回	令和2年度	令和2年7月22日	・環境調査の結果及び重要な種の選定 ・環境影響評価の進め方 （予測・評価の手順）
第4回	令和2年度	令和3年3月2日	・環境への影響予測結果及び評価